

これまでのロードマップ、これからのロードマップ

〈会音の和実行委員会〉

地域の元気・活カ力・自治カ

飾りの花木  
花屋さんで買っている  
みんなの持ち寄り

近所の人にも見ても  
らえるようなお月見  
会を開催

スタッフの得意なこ  
とを活かす

男性が山野で採って  
きてくれる

商工会女性部（7人）  
「お月見したらいい」  
永井屋敷 一般解放  
遠藤さんが美しい満月を見た

団体としての組織の確立  
（会長、副会長、会計事  
務局が町民）

商工会女性部  
→男性メンバー加わる  
→「会音の和」設立  
（20人～30人）

月見会からおひな祭り  
「桃花遊々」  
灯ろう「月下遊々」  
バザーで収益

「会音の和」  
友人の輪から派生  
お誘いで膨らんでいく  
60～70人が会員に

楽しんで活動  
充実している

役割分担が素晴らしい  
・アイデアを出す人  
・黙々と作業する人  
・まかないする人  
・材料集めてくる人

まかない班（4人）  
みんなのご飯を作るス  
タッフ（地域の野菜を  
使って）

次回を予測して花を植  
えている  
「こんな花を使うので  
作って」

展示物は会員（職人）  
の手作り  
テーマが毎年違う  
訪れる人が新たな期待  
を持つ

<p><b>課題</b> 会員の中の温度差</p>	<p>地域の人々をまきこむ ①あんどこコンクール ②商品は地元の企業さん から提供</p>	<p>初心者歓迎 設立当初の思いを伝 える</p>
<p>民家、商店ででき るちょっとした飾 り付けを提案する （講習会等）</p>	<p>外部講師（第三者）がアド バイスする 意識のレベルを同じにす る</p>	<p>ゆっくり時間をかけ て解決</p>
<p><b>課題</b> 後継者不足</p>	<p>若い女性に十二重衣を着 せる（役場職員・高校 生）</p>	<p>子供に参加させる （もれなく保護者が ついてくる）</p>
<p>近所の移住者を招き、 移住者ネットワーク を利用する</p>	<p>地域の学生に部外活動と して参加してもらい、興 味を持った学生を招き入 れる</p>	<p>スモールビジネス イベント時に店舗貸 し</p>
<p><b>課題</b> 資金不足</p>	<p>お金がないから工夫が ある</p>	<p>交渉次第 町長（行政）</p>

時間